

陥没などが懸念される外環道計画は見直しを

調布市の外環道の工事現場付近で陥没や空洞が見つかりました。専門家は、工事に起因するのではないかと指摘しており、工事が進められれば練馬区内でも同様の事故が起きかねません。計画線上には鉄道や河川も交差していて、陥没等が起きれば重大な事故につながる危険性すらあります。

外環道の地下40m以深の工事は、地上部に影響を与えないとして、これまで住民の合意も補償も必要ないとされてきました。もしこの前提が崩れれば計画の見直しは避けられません。

工事費も当初の1.8倍、2兆3575億円に膨れ上がり、今後さらに増えることも予想されています。多額の費用を必要とする外環道計画は中止するよう求めました。



調布の陥没事故現場

全会一致で 性犯罪の意見書、可決

この間、コロナによって性暴力の相談件数が増えています。しかし、被害者の4割を占める19歳以下の子どもたちに対して、学習指導要領が大きな障害となっていて、妊娠のしくみや避妊などのまともな性教育が行われていない状況があります。そのため区として性教育充実と共に学習指導要領の歯止め規定の撤廃を求めました。

また性暴力については、110年ぶりに刑法の改正が行われましたが、悪質な事件であっても強く抵抗がないとして、無罪が言い渡されている現状があることから、抵抗の有無ではなく、世界では主流になりつつある同意の有無で判断する刑法に見直すこと、被害者支援体制の強化を求めました。被害者にも加害者にも傍観者にもならない環境をつくるために、力を尽くします。

今年、性犯罪に関する刑法規定の見直しを求める意見書を出したいと、野党を中心に全会派に呼び掛け学習会を行うなかで、議会の認識も深まり、今定例会において全会一致で、「性犯罪に関する刑法規定の見直しを求める意見書」が可決されました。



小松あゆみ
文教児童青少年委員会
都市農業・みどり環境等特別
委員会
緑化委員会



のむら説
保健福祉委員会
交通対策等特別委員会
情報公開および
個人情報保護運営審議会



有馬豊
副幹事長 区民生活委員会
議会運営委員会
医療・病院整備等特別委員会
都市計画審議会
土地開発公社評議員会



島田拓
幹事長 企画総務委員会
議会運営委員会
総合・災害対策等特別委員会
財産価格審議会
練馬光が丘病院運営連絡協議会



坂尻まさゆき
団長 都市整備委員会
医療・病院整備等特別委員会
国民健康保険運営協議会
土地開発公社評議員会

暮らしに
希望を

HOPE



2021年1月号

日本共産党練馬区議団NEWS



都立光が丘公園・平和祈念碑前

みなさん、こんにちは。日本共産党練馬区議団です。

今回の区議会は、11月27日～12月11日まで15日間の日程で開会されました。一般質問では「核兵器禁止条約」に関わり区長の基本姿勢を質すとともに、感染症の拡大を防止し、誰ひとり置き去りにしない支援の充実をと訴えました。今定例会には44の議案が提出されましたが、そのうち学童クラブや図書館など公共施設の運営事業者を指定する議案に「指定管理制度はなじまない」として反対。また、石神井公園駅南地区の地区計画を住民合意のないまま変更する議案にも反対しました。

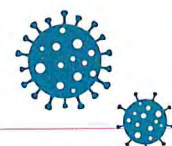
みなさんと力を合わせて実現しました

- 区内の新型コロナPCR検査体制が拡充。(保健所や5カ所の外来病院、129カ所の診療所にくわえ石神井公園駅ちかくの検体採取センターにも設置)
- 次期介護保険事業計画素案に加齢性難聴対策として、「補聴器購入費用の助成を行う」と明記
- 防災計画の中に避難所におけるパーティションの設置、消毒液などの備蓄、ジェンダーの視点を取り入れた対策の充実などが盛り込まれる
- 来年度の病床配分で、練馬区が392床獲得できる見通し。すべて稼働するようになると23区の10万人当たりの平均病床数に対し1/3から1/2に改善



日本共産党練馬区議団は32団体からいただいた来年度予算編成に向けての要望を261項目の要望書にまとめ提出しました。

前川区長に予算要望書を提出する
日本共産党練馬区議団 (11月20日)



新型コロナ対策の充実を

この間、コロナ対策について、党区議団の取り組みが功を奏し、区は4回の補正予算で、PCR等検査体制の強化や、医療機関への支援、高齢者や障がい者、子どもなどの施設従事者への給付金、区内事業者への経済対策などに取り組んできました。しかし、まだまだ十分とは言えません。

今議会では、PCR検査は感染震源地となる地域や業種、施設に、社会的な検査を行うこと、検査費用は全て国が負担とする仕組みの構築、感染経路を探索トレーサー配置など保健所体制の更なる強化を求めました。

区内病院への支援は、国に対して減収補てんをするよう要請し、区の更なる補助を求めました。また、院内感染防止への補助と、診療所の経営への更なる財政支援を求めました。

経済対策については、国に対して、支援制度の手続きの簡素化、事後チェックへの転換など速やかに支給されるよう、区も実態をつかみ意見を挙げることや、直接支援を行う他自治体の取り組みを参考に区としての支援策の強化、国に十分な財政支援と持続化給付金は第2弾の実施の意見を挙げることなど、現行の制度で不十分な対策の強化を求めました。

引き続き、コロナ対策の充実を力尽くします。



一般質問に立つ有馬豊区議

核兵器廃絶へ 区も声あげよ

歴史上はじめて核兵器を違法とする核兵器禁止条約が2021年1月に発効することが決まりました。しかし、日本政府は唯一の戦争被爆国にも関わらず、禁止条約に反対し続けています。

私たちはこれまでも非核都市練馬区宣言を行って、いる自治体として禁止条約に参加するよう区が国へ声をあげるよう求めてきましたが、区は「高度な政治的判断が必要」と背を向け続けてきました。

しかし、禁止条約に背を向ける態度に対して国内・国外から批判が寄せられ、日本の国際社会での支持も失われてしまっています。一方で、「核の傘」の下にある国々でも禁止条約への参加を模索する動きも生まれています。

今回も区は「意見を言う立場にない」との答弁でしたが、核廃絶へ積極的に声をあげるべきです。

としまえん跡地 防災視点つらぬけ

住民約6万人の避難場所として都が位置付けているとしまえん跡地。その敷地の半分近くが30年間にわたって米企業に貸し出されることになり、住民からは不安の声が相次いでいます。

区は、「避難場所としての機能は維持されている」と答弁しますが、災害時に敷地内のどこに逃げたらいいのかなど公表されておらず、2023年の開業以降も建屋や敷地が災害時にどう活用されるのかなども明らかになっていません。

区長がスタジオツアー計画に「歓迎」を表明する一方、複数の請願・陳情が提出されるなど住民がこれほど困惑している理由は、スタジオツアー計画だけが先行して防災が後回しにされ、行政として説明会も開催せずに住民が置き去りにされていることにあります。区議団はより望ましい練馬城址公園のあり方を幅広く議論するためにも、事業計画をいったん立ち止まり住民合意のうえですすめるよう主張しています。

介護保険の改悪に 反対する



介護保険は来年度から改悪が狙われています。施設入所者等に食費・居住費を補助する補足給付は、年金収入120万円超の人の負担を月2万2千円も増やし、さらに預貯金が500万円以上あると対象外にされてしまいます。また「値上げは年金生活者にとって致命的」など切実な声が寄せられている保険料は、さらに値上げされようとしています。コロナ感染が広がっているもと、負担増計画を中止するよう区に求めました。

補聴器購入費用 補助実現へ道開く

難聴は、認知症の最大の危険因子と言われています。私たちはこの間、加齢性難聴者への補聴器購入費用補助を繰り返し取り上げ、今定例会でも実施を求めました。その結果、次期介護保険計画に「補聴器購入費用の助成を行う」と明記され実現への道が開かれました。引き続き皆さんと力を合わせ、よりよい制度にするために取り組みます。

区の計画(素案)に 意見を寄せてください

練馬区は5つの計画について区民からの意見を募集しています。いずれの計画も今年度末に策定される予定です。みなさんの感想・意見を是非、練馬区にお寄せください。
(〆切は1月15日です。)

	計画(素案)の名称
1	地域防災計画
2	教育・子育て大綱
3	障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画
4	第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
5	耐震改修促進計画

全文は区ホームページや図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)などでご覧になれます。意見の提出方法は持参、郵送、ファックス、電子メールです。